

平成28年度ホタテガイ採苗通報(第3報)

平成28年4月26日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook: https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

- ・ ホタテガイ浮遊幼生は先週より増加しました。全調査点で、まだ中小型(250 μ m未満)主体ですが、只越(唐桑)で、大型幼生(250 μ m以上)が1個確認されました。
- ・ 只越(唐桑)では、そろそろ採苗袋の投入時期になると思われるので、投入に向けた準備を早速始めて下さい。
- ・ 今年の水温は例年よりも1~2 $^{\circ}$ C高く、県北部地区の採苗時期は例年より早いと予想されます、唐桑(只越)以外の地区でも早めの準備を心がけてください。

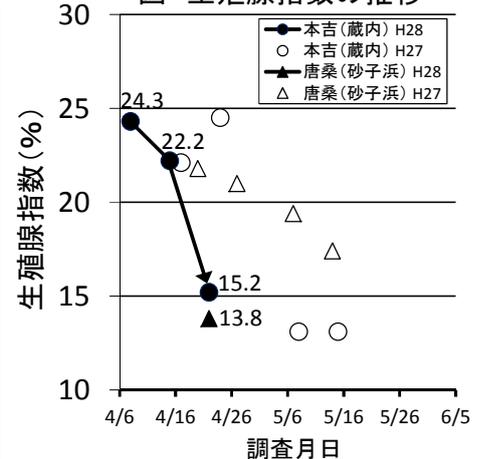
《調査結果の概要》 調査日:4月25日

- ・ 調査点の表層水温は10.9~12.0 $^{\circ}$ C、10m水温は9.6~10.3 $^{\circ}$ Cで、先週より表面で1.1~1.8 $^{\circ}$ C上昇、10mで0.6~0.9 $^{\circ}$ C上昇しました。なお、昨年同時期の表層水温は9.7~10.7 $^{\circ}$ C、10m水温は7.0~7.8 $^{\circ}$ Cでしたので、昨年より表層で約1.5 $^{\circ}$ C高く、10m層で約2.5 $^{\circ}$ C高くなっています。
- ・ ホタテガイ浮遊幼生(10m層まで)は、只越(唐桑)で69個、気仙沼湾口部の岩井崎で131個(前回28個)、大島の大前見で23個(前回3個)、唐島で37個(前回14個)と先週より増加しています。また、全調査点で中小型幼生(250 μ m未満)主体ですが、只越(唐桑)で大型幼生(250 μ m以上)が確認されました。なお、水深が40mほどの只越(唐桑)では、10m層で69個、20m層で248個となっており、浮遊幼生は深めの層に多く分布しているようです。
- ・ ホタテガイ母貝の生殖腺指数は、本吉で22.2%(4/15)から15.2%(4/22)と急激に低下、唐桑でも13.8%(4/22)となっていることから、北部で産卵盛期に入ったようです(昨年より早い)。

表 浮遊幼生調査結果

調査点 (調査月日)	水温($^{\circ}$ C) 表層/10m	採取方法 (プランクトンネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/ m^3		その他 (ムサキガイ等) 幼生数 個体/ m^3
			250 μ m未満 (小型~中型)	250 μ m以上 (大型)	
只越(唐桑) 4/25	11.7/10.3	10m層	69	-	20
		20m層	248	1	34
岩井崎 4/25	12.0/9.8	10m層	131	-	51
大前見(大島) 4/25	11.2/9.6	10m層	23	-	12
唐島(大島) 4/25	10.9/9.8	10m層	37	-	23

図 生殖腺指数の推移



県外情報

青森県(4/21)

- ・ 陸奥湾における浮遊幼生の出現数は西湾、東湾とも過去10年の同時期の平均値よりも多い状況。陸奥湾全域で、採苗器の投入完了を呼び掛けている。

岩手県(4/21)

- ・ 水温は高めで推移し、大型ラーバや試験採苗器への稚貝付着も確認されたことから、採苗器の投入時期は間もなくと予想。

次の通報発行は5月2日頃の予定です。